

## Y07a 国立国会図書館デジタルアーカイブツールの天文学史教育研究相互利用

玉澤春史（京都市立芸術大学）

国立国会図書館（NDL）では所蔵する様々な書籍をOCRによるデジタルテキスト化、およびその検索・利用ツール開発を行っており、特に現在は著作権処理が比較的容易な明治期資料が豊富に公開・利用可能であることから、関連する教育・研究双方の領域で非常に強力なツールとなっている。大学の共通教育における天文学史の授業では受講者に実際に検索してもらい、当時の科学認識や現代との比較などを自ら考える導入として扱うことができる。研究の面では、当時の教科書のみならず各種冊子の検索性も向上したことから、例えば冊子に投稿することで交流していたアマチュア研究者に関する情報の検索がより容易になった。このようなツールは教育・研究それぞれで利用するだけでなく、双方にフィードバックをかけることでより効果的なものとなり、特に天文学においては教育普及史に関する有効なものとなっている。本講演では実際の利用実践を報告し、今後のさらなる有効活用方法を探る。